

コロナウイルスのワクチン接種が始まりました。

ただ、ワクチンとは言ってもどのようなものなのか理解している人は少ないのではないのでしょうか。

人のからだには、一度入ってきた病原体が再び体の中に入ってきたとしても病気にならないようにするしくみがあります。このしくみを“免疫”といい、入ってきた病原体を覚えて、からだの中で病原体と戦う準備をおこないます。そうすることで、再度、病原体が体の中に入っても病気にかからない、もしくは病気にかかっても重症化しないようになっています。この免疫を人工的に作り出す働きがワクチンです。

私たちはこの世に生まれたからには必ず病気になります。生涯一度も病気になつたことがないという人はいないでしょう。

お釈迦様はこれを生老病死として、生まれたからには誰しも、老・病・死を背負って生きていかなければならない、逃れられない苦しみであると説かれました。

親鸞聖人はその苦しみを

生死（しょうじ）の苦海（くかい）ほとりなし

ひさしくしづめるわれらをば

弥陀弘誓（みだぐぜい）のふねのみぞ

のせてかならずわたしける

高僧和讃より

とおっしゃっています。

どんな名医であっても治すことの出来ない生老病死の苦しみは、深い海に沈んでいるようであると例えられました。

そんな私たちの苦しみを救わずにはおれないと南無阿弥陀仏のお念仏を与えてくださりお浄土をご用意くださったのが阿弥陀さまであります。

このコロナ禍で大変な昨今でございますが、いつでも私たちを見守ってくださいさる阿弥陀さまに感謝し、お念仏申すひぐらしを送りましょう。